

## 世界史 B

1 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

アフリカ西部では、4世紀ごろからラクダがサハラ砂漠縦断に利用されるようになると、地中海方面とむすばれるようになった。そして、西アフリカ産の（ A ）や象牙、奴隷などが、地中海の物資やサハラ産の岩塩と取引されるようになった。このような交易を基礎に、セネガル川上流域に（ 1 ）王国が成立し、8世紀以降は、ムスリム商人がこの交易をになうようになった。

11世紀後半にムラービト朝の侵入で（ 1 ）王国が衰退したのち、14世紀には（ 2 ）王国が栄え、15世紀後半にはソングイ王国にかわった。（ 2 ）王国とソングイ王国は、セネガル川・ニジェール川上流域にある（ A ）の産地を支配し、ムスリム商人と交易したために、王もイスラームを受容した。トンブクトゥは岩塩や（ A ）などの交易都市として重要な位置を占め、とくにソングイ王国時代には宗教・学術都市としても発展した。16世紀末、モロッコ軍の遠征を受けて、ソングイ王国は滅亡した。

いっぽうアフリカ東海岸では、8世紀ごろからマリンディ・ザンジバルなどの港市にムスリム商人が来航して、中国の絹・陶磁器やインドの綿布・ガラス玉などをもたらし、奴隷・（ A ）・象牙などを購入した。12世紀には土着のバントゥー系の文化とイスラーム文化が融合した（ 3 ）文化が生まれ、（ 3 ）語が商業用語として普及した。ムスリム商人の交易圏はさらに南のソファアラにのび、ソファアラは内陸にあるジンバブエとの交易拠点として栄えた。ジンバブエを中心とした（ 4 ）王国は、15世紀以降に（ A ）を産出し、インド洋交易で栄えた。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 4 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 文中の空欄（ A ）にあてはまる、もっとも適当な金属物質名を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. 鉄    イ. 銅    ウ. 金    エ. 銀

問3 下線部(a)に関連して、ローマ帝国が定めたキリスト教の五大教会のうち1つは、アフリカ大陸の地中海沿岸の都市に置かれた。その地名を答えよ。

問4 下線部(b)に関連して、ムラービト朝をたてた民族の名称を答えよ。

問5 下線部(c)に関連して、おもにイスラーム法学を教育研究するための施設は何と呼ばれたか、答えよ。

問6 下線部(d)に関連して、宋代に名付けられ、明代には官営工場が建てられて中国随一の窯業都市となった場所はどこか、地名を答えよ。

問7 下線部(e)に関連して、ムスリム商人が往来していたアフリカ北部～西アジア～東南アジア～中国などを旅し、その見聞が口述筆記されて『大旅行記』（『三大陸周遊記』）にまとめられた人物の名前を答えよ。

2

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

16世紀後半のフランスでは、カルヴァン派のユグノーがカトリック教徒と対立し、これに大貴族間の勢力争いがからんで、ヴァロワ朝のシャルル9世の治世期にユグノー戦争という宗教戦争が勃発した。1572年には(1)の虐殺のような悲惨な事件もおこるなど、この戦争は30年以上にわたって続いた。この混乱の中でヴァロワ朝は断絶し、ユグノーの指導者が1589年に即位して(2)となり、(3)朝を開いた。彼は後にカトリックに改宗したが、1598年には(4)を出して個人の信仰の自由を認め、長年の内乱を終結させた。

17世紀に入り、暗殺された(2)に代わってルイ13世が即位すると、宰相の(5)は(6)家に対抗するために三十年戦争<sup>(a)</sup>に介入し、国内では大貴族やユグノーをおさえて王権の強化に努めた。1615年以降は(7)の招集が停止され、1789年のフランス革命前夜まで開催されなかった。次のルイ14世の幼少時には、宰相(8)が中央集権化策を引き継ぎ、高等法院や貴族、民衆などがおこしたフロンドの乱を鎮圧した。

(8)の死後、ルイ14世は親政をはじめた。国王は王権神授説<sup>(b)</sup>を唱え、君主権の絶対・万能を主張した。また官僚制と常備軍を整え、財務総監に(9)を起用して重商主義政策を推進した。さらにパリ郊外に(10)宮殿を造営し、細部にいたるまで儀式化された宮廷生活により、国王の権威を高めていった。しかし国王が絶対的な権力をふるえたわけではなく、ギルドや貴族などの職能・身分団体や都市自治体などの地域的団体が依然として大きな特権を有していた。

ヨーロッパと世界での覇権を目指していたルイ14世は、さかんに周辺諸国に介入し、南ネーデルラント継承戦争、オランダ侵略戦争、ファルツ継承戦争をおこした。さらにスペインの(6)家が断絶すると、自分の孫をフェリペ5世として王位につけたが、これがきっかけとなり1701年からイギリス・オランダ・オーストリアを相手にスペイン継承戦争を戦うことになった。1713年に結ばれた(11)条約で、(3)家のスペイン王位継承は認められたが、海外発展をねらうイギリスにハドソン湾地方<sup>(c)</sup>などの植民地を奪われた。

長年にわたる戦争と宮廷費をまかなうための重税に、国民は苦しんだ。また1685年の(4)廃止にともなって、弾圧されたユグノーの商工業者がオランダやイギリスなどに大量に移住し、フランス経済は深刻な打撃を受けた。

問1 文中の空欄(1)～(11)に当てはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、(ア)この戦争に介入し、戦死したスウェーデン国王の名前と、(イ)この戦争の講和条約の名称を、それぞれ答えよ。

世

問3 下線部 (b) に関連して、この説やガリカニスム（フランス国家教会主義）を唱え、ルイ14世の王太子時代に教育係を務めた人物は誰か、答えよ。

問4 下線部 (c) に関連して、現在この地域は何という国に帰属しているか、答えよ。

3

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ラテンアメリカでは、アメリカ独立革命とフランス革命の影響を受けて、18世紀末から独立運動がおこった。まずフランス領ハイチ（サン=ドマング）は、フランス革命中に黒人奴隷たちが蜂起し、（ 1 ）が指導者となった。彼はナポレオン軍に捕らえられて獄死したが、ハイチは1804年に世界初の黒人共和国として独立した（ハイチ革命）。

さらにナポレオン時代に、スペインのラテンアメリカ支配がゆらぎ、（ 2 ）の指導のもとに、ベネズエラやコロンビアが独立し、サン=マルティンはアルゼンチンの独立に寄与し、（ 3 ）・ペルーの独立も指導した。一方、メキシコでは、カトリック司祭（ 4 ）が民衆蜂起を指導した。これを契機として、メキシコは1821年に独立し、1824年に共和国憲法が定められた。また（ 5 ）植民地のブラジルは、ナポレオンの侵攻により避難していた（ 5 ）亡命王室を利用して1822年に独立を宣言し、帝政をしいた。

こうしたラテンアメリカ諸国の独立に際して、ヨーロッパ列強による武力干渉がメッテルニヒらにより計画されたが、アメリカは（ 6 ）宣言（教書）によって干渉に反対した。イギリス外相（ 7 ）も、ラテンアメリカへの経済進出をはかって、諸国の独立を支持した。

ラテンアメリカの植民地では、厳しい階層秩序が存在した。共和政が多くの国で採用されたにもかかわらず、独立後も少数者による寡頭<sup>(b)</sup>支配<sup>(a)</sup>が続き、貧富の差や社会的不平等が残った。また、プランテーション経営も続き、バナナ・コーヒーなど単一作物の生産と輸出に依存する（ 8 ）経済が進行した。

アメリカ=メキシコ戦争に敗れたメキシコでは、19世紀半ばに、自由党と保守党が国家再建のあり方をめぐって対立し、レフォルマ（大改革）の内戦がおこった。これに乗じたナポレオン3世は、1862年にメキシコ出兵を行い、保守党を支援してマクシミリアン<sup>(c)</sup>をメキシコ皇帝にすえた。しかし、先住民出身で対外債務支払いの拒否を宣言した自由党の（ 9 ）が、1867年に皇帝を処刑し勝利した。（ 9 ）の死後、軍人ディアスが内戦状態を收拾して権力を握り、この長期独裁がメキシコを停滞させた。その後、ディアスの独裁体制の打倒と政治の民主化を目指す運動が、1910年、自由主義者（ 10 ）の武装蜂起によって始まり、翌年ディアス政権は崩壊した。この政治的民主化運動は1917年の革命憲法の制定に結実した（メキシコ革命）<sup>(d)</sup>。1919年に南部の農民運動の指導者（ 11 ）が暗殺され改革は道半ばに終わったが、メキシコ革命がラテンアメリカ社会に及ぼした影響は大きく、各地で独立と革命の運動が進展した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 11 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、独立の機運を盛り上げたトマス=ペインが1776年に著した小冊子は何か、答えよ。

世

問3 下線部(b)に関連して、独立運動の中心となった階層の呼称としてもっとも適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. インディオ イ. クリオーリョ ウ. ムラート エ. ペニンスラール

問4 下線部(c)に関連して、兄はある国の皇帝であったが、その国はどこか、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. スペイン イ. イタリア ウ. ドイツ エ. オーストリア

問5 下線部(d)に関連して、メキシコ革命の精神や先住民の生活を表現する壁画運動を行った人物を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. ダリ イ. シケイロス ウ. アギナルド エ. ゲバラ

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

1929年10月、ニューヨークの（ 1 ）街での株価大暴落により、大恐慌が始まった。企業倒産と失業者増大に直面したアメリカは、海外に投下していた資本<sup>(a)</sup>を引き揚げ、輸入を縮小したので、その影響はたちまち各国に波及して、世界恐慌となった。特に、ドイツが深刻な打撃を受けたため、共和党のアメリカ大統領（ 2 ）は賠償と対米戦債の支払いの1年間停止を実施したが、状況は好転しなかった。そして、1932年の大統領選挙で、民主党のフランクリン＝ローズヴェルト大統領が当選し、ニューディール（新規まき直し）<sup>(b)</sup>と呼ばれる経済復興政策を実施した。一方、イギリスは、英連邦内での特惠関税制度を設け、他国には保護関税をとる（ 3 ）＝ブロックを形成して、貿易の回復を図った。他の主要国も同様に、ブロック経済形成に向かった。

世界恐慌でドイツが受けた打撃はきわめて大きく、失業者は600万人をこえた。経済的、政治的不安定がひろがるなかで勢力を伸ばしたのはヒトラーの率いる（ 4 ）であった。イタリアのファシスト党<sup>(c)</sup>と並ぶファシズムの代表的な担い手となった（ 4 ）は、巧みな宣伝術で、現状に不満を抱く人々にヴェルサイユ体制打破・ヴァイマル共和国反対を訴え、特に中間層に支持を広げた。1933年1月にヒトラー内閣が成立すると、3月には政府に立法権を与える（ 5 ）を成立させ、その後、（ 4 ）以外の政党や団体を解散させて、わずか半年で一党独裁体制<sup>(d)</sup>を確立した。1934年に（ 6 ）大統領が死去すると、ヒトラーは、首相と大統領を兼ねて総統と呼ばれるようになった。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、1924年にアメリカの銀行家を議長とする専門委員会が提案、採択したドイツの賠償支払い方法と期限の緩和計画で、その後のアメリカ資本のドイツ流入の契機となった案の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、この政策に含まれないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. シャーマン反トラスト法の制定      イ. テネシー川流域開発会社(TVA)による公共事業  
ウ. 農業調整法の制定                      エ. 全国産業復興法の制定

問4 下線部(c)に関連して、イタリアのファシスト政権は、1870年の教皇領併合以来、イタリア国家と関係が悪化していたローマ教皇庁と和解するため、教皇庁をヴァチカン市国としてその独立を認める条約を1929年に結んだ。その条約の名称を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、このドイツの一党独裁体制下で行われた施策として正しくないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 英独海軍協定の締結      イ. 国際連盟脱退  
ウ. アルバニア保護国化      エ. ラインラント進駐